

令和4年度 ひいらぎこども園 事業報告書

1 成果と課題（施設運営方針の実施状況）

（1）環境整備及び保健教育の充実 ⇒ ◎

環境整備員2名を引き続き雇用し、施設内の床・手すり等の共用部分の消毒を徹底した。

4月の保健安全計画に「手洗い教室」を位置付け、子どもたちへの意識を高めた。さらに、看護師による保護者向け感染拡大防止対策や国の通達を配布し、保護者にも協力を求めた。

また、教育・保育に関しては感染状況を見ながら、子どものマスク着用の中止・歌唱の再開・異年齢交流等を行い、感染対策を行いながら行事も全て実施することができた。

（2）指導計画の月のねらいを基にした教育・保育内容の充実 ⇒ ◎

エピソード記録用紙に「月のねらい」を記入する欄を作り、掲示板にも「月のめあて」を掲示した。常に月毎の「めあて」を意識をしながら、保育を行うことができた。

さらに、めあてに沿って、園庭及び保育室の環境整備を行った。3月の園内研修で指導助言の木下光二講師より、「遊びの質が高まってきている。次は、昨日から今日にかけて子どもの活動の何が違ってきているか、個々の子どもの新しい発見をどこまで拾えるかが課題」という評価をいただいた。

研究保育を行った幼児組の保育者全員が「とても楽しかった」という感想を持ち、目標とやりがいを改めて得たように感じる。

（3）保護者への積極的な日々の伝達 ⇒ △

0～2歳児は連絡帳があり、さらに1～2歳児は親子ふれあい遊びを実施することができたため、園内の環境や普段の遊びの様子を見てもらうことができた。また、保育者との信頼関係も深まった。

しかし、3歳児以上は連絡帳もなく、玄関までの送迎となり、部屋の様子もわからないままで、感染対策のために個別の会話も短時間で済まさなければならず、不安を抱いている保護者がいたことが研究アンケート（資料 ひ1）からわかった。

動画や写真だけではなく、担任から、直接生活の様子について聞きたいという保護者の願いに、応えられるようさらに努力していきたい。

（4）調理室衛生管理の改善 ⇒ ◎

自主的に山城北保健所衛生課及び、食育講師の伴亜紀氏の指導を受け、日々の給食日誌に、「調理室点検表」「衛生管理点検表」を付け加え、調理員の個人衛生点検表も職員室に配置し、出勤時に記入することにした。調理員全員の衛生管理意識が高まり、改善につながっている。

（5）働きやすい職場環境作り ⇒ ◎

第2職員室の整備を行ったことにより、子どもから完全に離れて休憩を取ることができるようになり、「リフレッシュできる」「楽しく休憩ができる」という声が多く聞かれる。職員同士のコミュニケーションも増え、担当年齢が違う職員とも情報交流ができ、保育の質の高まりにもつながっていると感じる。

2 年間教育・保育日数

1号認定 235日（年長児は230日）

2・3号認定 288日（年長児は282日）

3 利用者数

（1）ひいらぎこども園（本園）在園児数

年齢	標・短	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	標準	18	22	22	25	24	24	24	24	24	24	24	25	280
	短時間	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	29
1歳児	標準	41	40	40	40	40	40	40	40	39	39	39	39	477
	短時間	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	27
2歳児	標準	38	39	39	40	40	40	40	38	37	36	35	35	457
	短時間	4	3	3	2	2	2	1	3	3	4	5	4	36
満3歳児	1号	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	3	11
3歳児	1号	3	3	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	56
	標準	37	37	37	37	37	37	36	35	35	35	34	35	432
	短時間	6	6	5	5	5	5	6	5	5	5	6	5	64
4歳児	1号	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	3	33
	標準	39	40	40	38	38	37	37	37	37	36	36	36	451
	短時間	2	1	1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	24
5歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	標準	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	41	41	502
	短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計		241	243	243	245	244	243	243	243	243	243	243	243	2917
定員充足率		97.2%	98.0%	98.0%	98.8%	98.4%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%

（2）一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（人）	43	25	31	25	29	36	39	34	56	52	64	83	517
保育日数（日）	19	17	18	19	10	18	18	19	19	16	18	20	211
1日平均人数（人）	2.3	1.5	1.7	1.3	2.9	2.0	2.2	1.8	2.9	3.3	3.6	4.2	2.5

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
リトミック(組)		中止	4		5		3		3		1	16
運動遊び(組)						5						5
一時預かり(人)		0	0	0	0	1	3	2	6	12		24
園庭開放(組)		1	0	0	2	4	2	2	0	0	0	11
合計	0	1	4	0	7	10	8	4	9	12	1	56

- 体験保育【未実施】 子どものクラスに入り、こども園の生活を親子で体験してもらっている。子育て相談では、同じ歳の子どもとの関わりや、その年齢の遊びや活動がよくわかると毎回好評である。
- リトミック【年6回】 親子と一緒に音楽に合わせて体を動かして、ふれあい遊びを楽しみ、スキンシップをする機会を増やし、保護者のリフレッシュになっている。ママ友サークルもできてきている。
- 運動遊び【年1回】 年齢に応じた体の使い方や遊びを知り、親子で元気に体を動かしてもらっている。参加者は、ここで体験した運動遊びを家庭でも続けてくれている。
- 一時預かり 未入園児の預かり保育を20回行った。保育者や友だちと関わり、遊びの幅が広がっており、保護者にも喜ばれている。
- 園庭開放【毎週月曜】 おひさま広場、あおぞら広場、どろんこ広場で親子で遊んでもらい、その中で、子育て相談を行った。発達についての相談が多かった。

4 職種別職員数（令和5年3月31日現在）ひいらぎこども園

職種	園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	保育士	ソーシャルワーカー	看護師	栄養士	非常勤講師	保育補助	事務員	調理員	警備員	環境整備員	合計
正規職員	1	1	1	1	35	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	44
パート職員	0	0	0	0	13	0	0	1	0	0	0	0	5	1	2	22
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
派遣職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	1	1	1	49	1	1	2	1	1	1	1	5	1	2	69

(正規保育教諭の内2名は産後休暇と育児休暇)

5 年間行事実施内容（略）

6 小学校との接続

（1）連携行事の中止等

平成 28 年度から小学校との連携が動き始め、毎年、少しずつ取組を積み重ねていった。取組 4 年目の令和元年度には念願であった小学校の先生による『出前授業』が実現し、今後の連携計画を立て、より充実した取組に期待を膨らませた。しかし、令和 2 年度から、コロナによる感染・拡大による中止が 2 年間続き、今までの取組を継続することはできない状態であった。

昨年に引き続き、「入学式参列」は中止、「保幼小連絡会」は平盛小学校のみ実施された。その後、「運動会参観」「小学校訪問」「作品展招待」もすべて中止となった。

（2）宇治市立神明小学校の先生による『出前授業』

感染・拡大に収束の兆しが見えてきた令和 5 年 3 月、神明小学校の先生による『出前授業』がやっと実現した。

教務主任の福田教諭が来園してくださり、小学校での生活や学習についてプレゼンテーションをしてくださった。

子どもたちは、目を輝かせながら学校の様子が映し出される画面を見入っていた。絵本の読み聞かせ（「なんでもできる」五味太郎作）があったり、質問タイムがあったりして、「小学校の先生」との楽しい時間を過ごすことができた。

コロナ禍により、あらゆる連携がやむなく中止され、積み上げてきた取組が足踏み、後退しそうな兆しの中、神明小学校の先生による『出前授業』の実現は非常に貴重であった。今後の連携のスタートが切れたと感じる。



（3）スムーズな就学に向けて

① 情報交換と共有

例年、年長児においては、各小学校の先生が来園し、園児一人一人について、丁寧に情報交換を行っている。今年度も「教育相談」を受けた年長園児については、より密に行った。8月22日、8月25日、9月7日、9月20日には、各小学校の先生が来園、保育参観の後、担任と子どもの日頃の様子や支援について話し合った。

また、1年生に限ることなく、卒園した児童の様子についても、不定期ではあるが、

情報をもたらしている。

情報が常に共有できるということは、今までの連携の積み重ねによるものであると実感している。

② 就学支援シートの活用

配慮を要する園児は年々増加している。加配対象の園児については、個別の指導計画を作成し、保護者と年間2回の懇談を重ねている。年長児は、後期の懇談と合わせて、園独自で作成した『就学支援シート』を保護者と共に作成した。日頃の園児の様子や困りを詳細に記し、それに関わる具体的な支援を記入して、小学校に伝えている。

卒園児の母親からは、日頃の園での支援をしっかりとシートに記入し、小学校と連携してもらっているのが、非常に安心することができ、有難かったと言う声をいただいた。『就学支援シート』によって小学校と園児の情報を共有できることは、就学に対する保護者の安心につながっていることを確信した。

③ その他

- 神明小学校と園だより及び学校だよりの交流（月1回）
- 神明小学校校長の入・卒園式への出席（新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止）

7 職員研修内容

(1) 園内研修

① 「調理室の衛生管理」

日時 令和4年4月11日（木）9:30～12:00

講師 伴 亜紀氏（Graine 代表・大阪総合保育大学非常勤講師）
佐井かよ子氏（京都府保育協会キャリアアップ研修講師）

受講者 栄養士2名・調理師5名

② 「幼児期の環境と支援」「エピソード記録」

日時 令和4年5月4日（火）13:00～14:30（ZOOM）

講師 木下光二氏（鳴門教育大学大学院教育研究科教授）

受講者 保育教諭14名

③ 「運動あそび研修」

日時 令和4年5月12日（水）9:50～15:00

講師 杉島秀政氏（安田式体育遊び研究所指導員）

受講者 保育教諭23名

④ 「不審者対応研修」（京都府教育委員会幼児教育 アドバイザー派遣事業）

日時 令和4年9月22日（木）13:00～14:30



講師 宇治警察署
生活安全課少年係 栗野警部補・警務課警務 牧本警部補
スクールサポーター加藤 SS
受講者 職員 15 名・(避難訓練 48 名)



- ⑤ 「造形あそび（自然にふれて）」
(京都府教育委員会幼児教育アドバイザー
派遣事業)

日時 令和 4 年 11 月 15 日 (火) 9:00~16:00

講師 津田純佳氏

受講者 職員 4 名 京都教育大学学生 4 名



- ⑥ 「虐待対応・防止研修（不適切保育について）」

日時 令和 4 年 12 月 19 日 (月) 13:30~14:30

講師 脇 貴志氏

受講者 職員 11 名

- ⑦ 「造形あそび（まっくらあそび）」(京都府教育委員会
幼児教育アドバイザー派遣事業)

日時 令和 5 年 2 月 10 日 (金) 9:00~15:00

講師 津田純佳氏

受講者 保育教諭 6 名



- ⑧ 「食事の提供のしかた」

(キャリアアップ研修対応 1.5 時間)

日時 令和 5 年 3 月 13 日 (月) 13:30~15:00

講師 伴 亜紀氏 (Graine 代表・大阪総合保育
大学非常勤講師)

受講者 保育教諭 11 名

新規採用者 (保育教諭 6 名・栄養士 1 名)



- ⑨ 「遊びを通して学びに向かう力を育む環境構成」

(キャリアアップ研修対応 1.5 時間)

日時 令和 5 年 3 月 24 日 (金) 13:15~14:45

講師 指導助言 木下光二氏 (鳴門教育大学
大学院教育研究科教授)

受講者 保育教諭 10 名



(2) 派遣研修

今年度キャリアアップ研修 15時間修了者数 18名



8 安全衛生委員会

(1) 委員会

月1回委員会開催・面談希望者は無し。

議長	園長	中田 純子
産業医	(株) Dr. 健康経営	大森 直美
衛生管理者	看護師	馬場崎 美代
委員	副園長	岩岡 昌子

(2) ストレスチェック

- ① 実施日 令和4年7月25日～8月23日
- ② 委託業社 株式会社 Dr. 健康経営
- ③ 受診者 78名 (受検率100%)
- ④ 結果

ストレスチェック実施結果のご報告

1. 実施概要

実施期間	2022年7月25日～2022年8月23日
実施方法	WEB、マークシートによる実施
チェック内容	職業性ストレス簡易調査票57問
受検人数	78名 (うち、有効回答数 77名)

今年度			
登録人数	78名		
受検人数	78名	受検率	100%
高ストレス者数	4名	高ストレス者率	5.1%
面談希望者	0名	面談希望率	0%

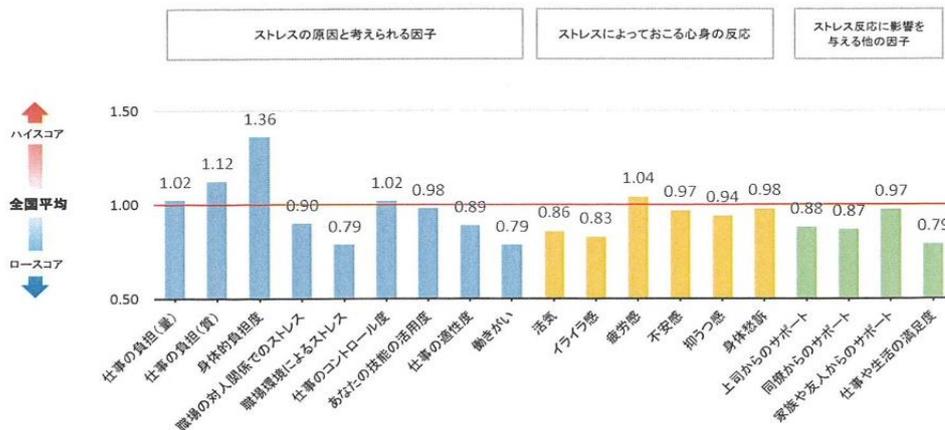
※【参考:厚生労働省統計】受検率 78%・高ストレス者率 10%前後・面談希望率 0.6%

尺度	平均点数	全国平均値との対比	
		全国平均値	傾向
量的負担	8.7	8.4	▼
コントロール	7.5	7.7	▼
上司の支援	8.0	7.5	▲
同僚の支援	9.1	8.1	▲

健康リスク(全国平均を100とした場合)	
仕事の量 コントロール	103
職場の支援	86
総合健康リスク 89	

▲は全国平均値対比でストレス値が低い傾向 ▼は全国平均値対比でストレス値が高い傾向

2. 各項目における全国平均との比較



全区分において、標準的なストレス度で問題の無いレベルだが、職場の支援度に比べて、仕事のコントロールのストレスを負担に感じている職員が多い。

⑤ 改善計画

- 休憩時間と場所を確保する。(11月に休憩室の整備完了)
- 全員との面談を行い、個々のストレスの原因を把握し、軽減につながる取組を行う。
また、良好な理由についてもヒアリングを行い、より一層やりがいをもって健康的な労働生活が送れるように、職場づくりを進める。

9 保健室利用実績・感染症による欠席状況

(1) 病気早退延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	2	4	11	14	15	4	9	16	12	11	10	7	115
幼児	0	3	4	5	3	5	2	2	1	4	3	4	36
合計	2	7	15	19	18	9	11	18	13	15	13	3	151

(2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ										2	5	4	11
手足口病							23		7				30
溶連菌										1			1
アデノウィルス			3	3			1		2				9
細菌性腸炎										1	1	1	3
マイコプラズマ													0

RS ウィルス				13	12	1							26
ヘルパンギーナ				3			1		3				7
突発性発疹					1	1	2	1					5
水痘					1	1							2
流行性耳下腺炎										3		1	4
リンゴ病							1						1
麻疹													0
クループ症候群					1			1					2
流行性嘔吐下痢症	2		1	4				1			2		10
新型コロナウイルス	3	9	8	7	26	22	4	15	10	10	2		116
合計	5	9	12	30	41	25	32	18	22	17	10	6	227

(3) 重大事故（骨折 1 件）

- 日時 令和 5 年 3 月 10 日（金） 10:28
- 年齢・性別・場所 2 歳 女児 わくわく広場
- 丸太にまたがり、下方に移動しようとしていて、左側に落ち、左前腕を骨折した。
（同 3 月 30 日完治）

10 課外教室参加者数

(1) ピアノ・リトミック教室【1 クラス 30 分・4 クラス】講師 伊藤嘉代氏)

月曜日 5 歳児 5 名・4 歳児 3 名 計 8 名

金曜日 5 歳児 5 名・4 歳児 3 名 計 8 名

(2) ECC【1 クラス 40 分・2 クラス】(講師 上田靖子氏)

火曜日 5 歳児 16 名・4 歳児 6 名 計 22 名

(3) かきかた教室【1 クラス 40 分】(講師 川田道子氏)

水曜日 5 歳児 10 名・4 歳児 4 名 計 14 名

(4) ジョニーのサッカー教室【2 クラス 40 分】(講師 松下洋亮氏)

木曜日 5 歳児 14 名・4 歳児 7 名 計 21 名

(5) 剛柔流空手教室【1 クラス 60 分】(講師 加藤吉辰氏・加藤映彦氏)

土曜日 5 歳児 2 名・4 歳児 1 名 計 3 名

11 絵画作品の発表

- (1) 第 82 回 全国教育美術展 入選 5 佳作 4
- (2) 第 52 回 京都新聞社「お話を絵にする」コンクール 入選 2 佳作 3
- (3) 第 43 回 京都こども美術展 京都府保育協会賞 1 入選 3



全国教育美術展入選



「お話を絵にする」コンクール入選



「お話を絵にする」コンクール入選

12 実習生・インターンシップ・体験学習・子育て支援員研修の受け入れ

(1) 職場・福祉体験学習 未実施

(2) 高校生インターンシップ 未実施

(3) 教育・保育実習

8月17日～30日・9月5日～17日 (20日間)	文教短期大学	女子2名
8月17日～27日 (10日間)	西山短期大学	男子1名
8月22日～23日・2月8日～17日 (10日間)	池坊短期大学	女子1名
10月3日～31日 (4週間)	京都文教大学	女子2名
11月14日～25日 (10日間)	京都芸術大学	女子1名
11月28日～12月9日 (10日間)	池坊短期大学	女子2名
2月13日～24日 (10日間)	京都文教大学	女子1名

(4) 子育て支援員研修

地域子育て支援コース「利用者支援事業」見学実習

2月13日 女子13名

地域子育て支援コース「一時保育事業」未実施

13 保護者アンケート (資料 ひ4)

14 ほっこりくらぶとの交流

敬老の日のプレゼント (9月)

青緑組 手作り小物入れ

ほっこりくらぶからのお礼のハガキ



感染拡大防止の為、ほっこりくらぶへの訪問はせず、敬老の日のプレゼントを届けた。ほっこりくらぶから、押し花入りのお礼の手紙が届いた。早く、実際に出会って交流できることを願っている。

15 社会貢献

地域への駐車場貸出（夏休み・冬休み・土曜・日曜）延べ8件の希望があった。

16 施設整備

（1）あおぞらひろば日よけシート

施行日 令和4年4月25日（月）

施行业者 カーテン工房近畿

事業費 293,040円



（2）フライヤー入れ替え工事（15ℓから23ℓへ）

施行日 令和4年5月10日（火）

施行业者 中西製作所

事業費 231,000円



（3）たんぽぽ1組床・ランチルーム床改修工事（安全・衛生対策）

施行日 令和4年8月11日～8月16日（たんぽぽ1組）

9月17日～9月23日（ランチルーム）

施行业者 株式会社下岡建設

事業費 2,750,000円（内子育て環境充実事業費補助金 1,000,000円）

BEFORE



AFTER



たんぽぽ1組



ランチルーム



(4) テーブルベンチ 1台

施行日 令和4年9月27日(火)

施工業者 ホリモク株式会社

事業費 126,500円(内京都府教育支援体制整備費補助金 39,000円)



(5) 第2職員室門扉工事

施行日 令和4年9月28日(水)

施工業者 株式会社下岡建設

事業費 787,073円

(6) ホール・厨房2階のエアコン取替工事

施行日 令和4年12月23日(金)

施工業者 株式会社下岡建設

事業費 1,980,000円(内省エネ推進緊急対策補助金 1,485,000円)



厨房2階 エアコン



ホールエアコン(換気機能付き)



(7) 第2職員室 エアコン取付工事 (3台)

施行日 令和4年12月24日 (土)

施工業者 (株) マキノデンキ

事業費 493,921円



17 苦情受付の状況

(1) 令和4年8月23日 (火) 19:49

第三者委員のアイギスより入電 匿名希望

① 園に持っていく着替えの件

汚れてもよい服を持って行っているのに、それを使わずに、着て行った服がひどく汚れて帰ってくることが多い。どうしたら、汚れてもよい服を着て遊んでもらえるのか？朝に担任でない先生に伝えてもスムーズな回答が返ってこない。

② 濃厚接触者について

マスクをしていない年齢なのに、「濃厚接触者無」と言うメールが来る。濃厚接触者がいない根拠を教えてください。

アイギスに伝えた回答

① 汚れてもよい服というのは、どろんこ遊びや絵具遊びを設定した時に使う物で、普段園庭に遊びに行く時には、着替えることはしない。園庭で水たまりを見つけて興味をもったら入って遊ぶかもしれないし、砂場にお尻をつけて遊ぶかもしれない。子ども主体の保育をしているので、子どもの興味によって遊びが展開する。普段から汚れてもよい服装で登園してほしい。

② 陽性者が出た場合には、保健所が濃厚接触者を特定する。保健所は、普段の遊びの時間ではなく、食事中と午睡の時間の子ども同士の距離で判断する。できる限り距離を取る努力をしている。

(2) 令和4年12月19日 (月) 17:00

第三者委員のアイギスより入電 匿名希望

○ コロナ対応についての質問

今までもラインで陽性者のお知らせがあったが、今までは「熱が下がってから登園してください」と書いてあったのが、11月から「医療機関に行ってから登園してください」と書かれている。なぜか？

アイギスに伝えた回答

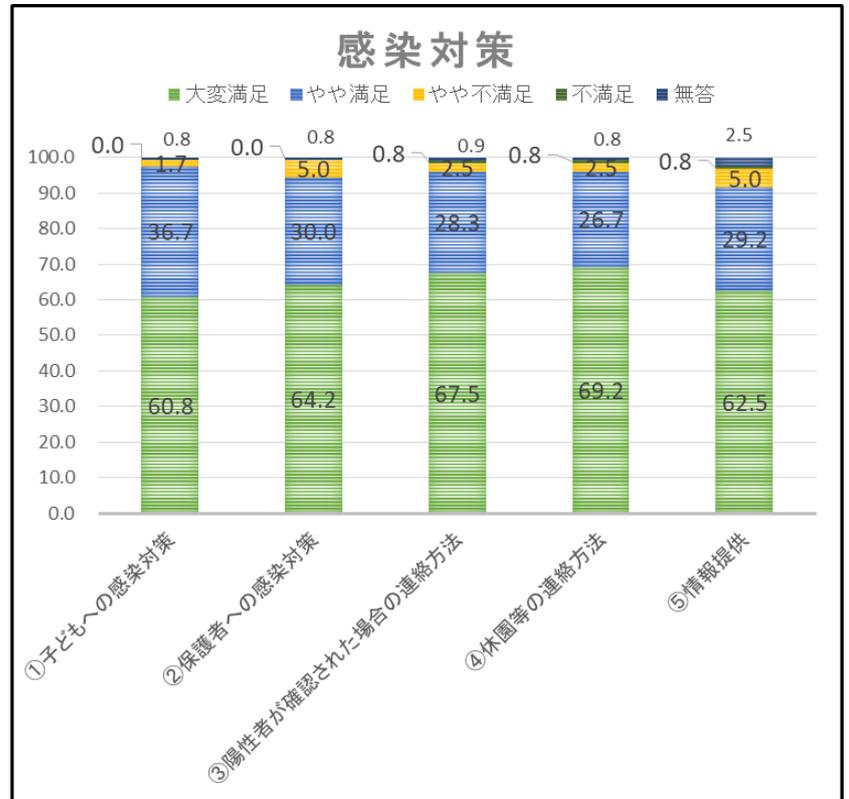
○ 発熱後、24時間経って登園した園児が、再度検査したら陽性であったということがあったため、医療機関に行ってもらうことになった。必ず検査が必要なのではなく、医療機関の判断による。

コロナ禍における園の対応についての保護者アンケートの結果

1 感染対策についての満足度

- ①子どもに対する感染症対策
(手洗い指導・消毒・検温等)
- ②保護者に対する感染症対策
- ③陽性者が確認された場合の
連絡方法(内容含む)
- ④休園等の連絡方法
- ⑤情報提供(刻々と変化する
状況下における園からの
最新情報提供)

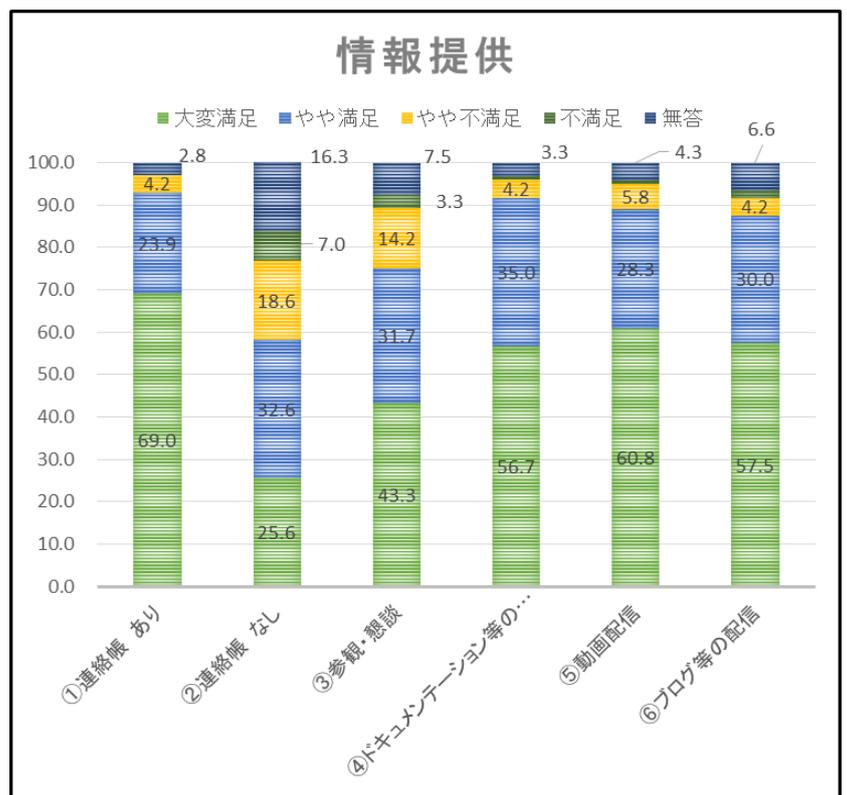
どの項目も、大変満足とやや満足の割合を合わせると、90%を超えており、ほぼ満足してもらえていたといえる。



2 子どもの様子の情報提供についての満足度

- ①連絡帳あり(0~2歳児)
- ②連絡帳なし(3~5歳児)
- ③参観・懇談
- ④ドキュメンテーション等の
掲示
- ⑤動画配信
- ⑥ブログ等の配信

3歳以上児の連絡帳に関する満足度は大変満足と、やや満足を合わせて57%であり、他の項目に比べると低い。また、参観・懇談に関しても、やや低い満足度となっている。このことから、保護者は、子どもの様子についてより詳しく様子を聞きたいと思っていることがわかる。



自由記述

○感染対策

- ・子どもへの感染対策として、午前・午後の2回検温できればいいと思う。
- ・子どものマスクは必要あるのだろうか？（子どものマスクは衛生面でも問題がある。）
- ・園ではしっかり対策をしてもらっている。行事があるとどうしても感染者が増える。行事や通常保育を実施しながらの感染対策で先生の負担がかなり増えているのが気がかりだ。
- ・集団生活をしている以上、リスクはやむを得ないと思う。その中で、感染対策をしっかりしながら、可能な範囲で行事も開催してもらい、感謝している。
- ・園の行事での人数制限が1人となり、両親揃って参加できなかったことが残念だった。
- ・専門医によると、行事前の体温のスクリーニングは意味がないと言っている。
- ・縦割り活動をなくしてしまったことが残念だ。

○登園基準

- ・発熱したら、必ず検査をするように言われたが、検査に回されたら登園できない日が増えます。有休休暇にも限りがあるので、登園基準をもう少し下げてほしい。
- ・いっどこで感染してもしかたがないと思っているが、本人だけでなく、兄弟も園を休まなければならないのはかわいそうだと思う。

○情報提供

- ・細かなこともすぐに一斉連絡で報告してもらえるので、安心できる。
- ・状況が刻々と変わっていく中で大変だと思うが、園の対応がよくわからない時もある。
- ・朝の送迎時しか立ち入れないため、生活や遊びの様子がわかりづらい。懇談もクラスだよりもないのは、どうかと思う。
- ・配信は充実しているが、担任のコミュニケーションを取ることがほぼないため、我が子のリアルな姿が伝わってこない。
- ・保育室の様子、普段の様子が気楽に聞けないと感じる。できる範囲でしていただいているので、無理は言えないと思う。
- ・当初は混乱もあっただろうが、感染者保護が優先され過ぎていて、情報の開示がほぼなかったため、兄弟を小学校に行かせていいのか判断できず、困惑した。

○連絡帳・保育者との会話

- ・連絡帳がない分、ドキュメンテーションや動画配信を細かに行ってもらっているので、子どもの様子がよくわかり、助かっている。
- ・3歳児になり連絡帳がなくなった。担任と話す機会もあまりない。たくさん言葉を話す子はいいかもしいれないが、言葉が少ない子はどんなふうに過ごしているのかわからず不安になる。
- ・2歳児から3歳児になった時に、担任と顔を合わせて話をする機会がなくなったため、園でどう過ごしているのかわからなかった。事前に朝夕の受け入れ時のことを知

っておきたかった。

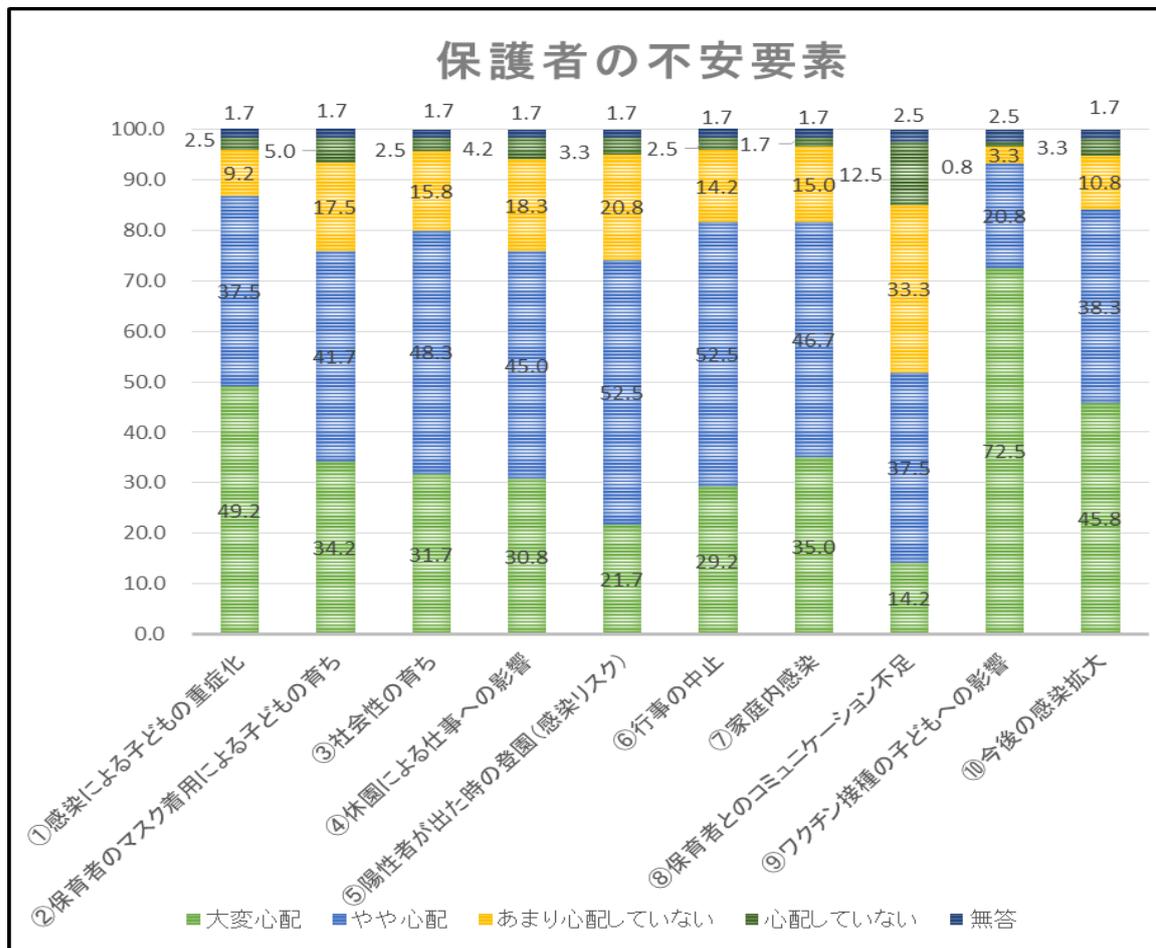
- ・連絡帳は、先生と保護者との子どもの成長記録を残すものだと思うので、年長まで続けてほしい。

○懇談会

- ・希望しないとできないので、どのような時に申し込んだらよいのかわからない。全員にしてほしい。

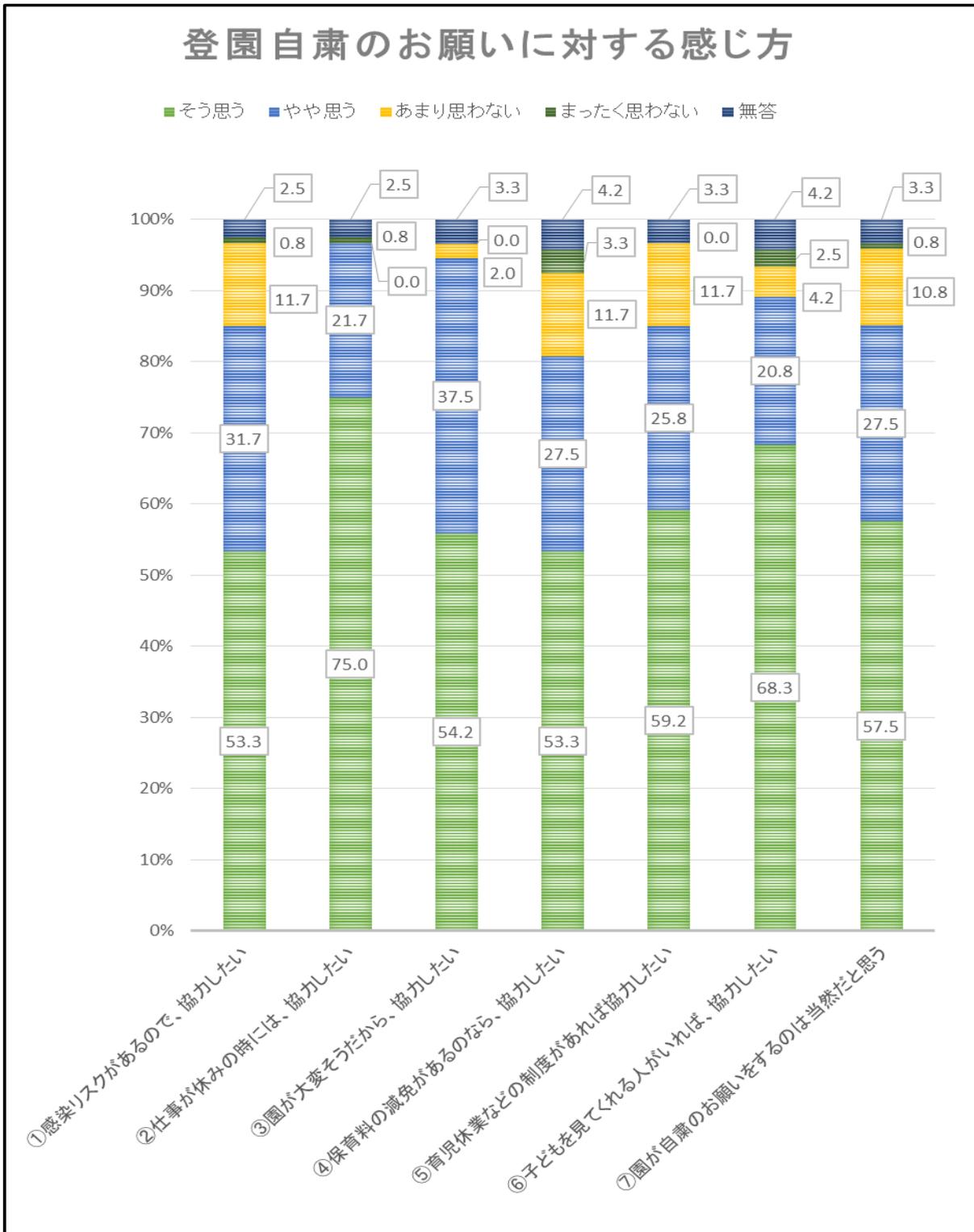
3 保護者の不安要素

- ①感染による子どもの重症化
- ②保育者のマスク着用による子どもの育ち
- ③社会性の育ち
- ④休園による仕事への影響
- ⑤陽性者が出た時の登園（感染リスク）
- ⑥行事の中止
- ⑦家庭内感染
- ⑧保育者とのコミュニケーション不足
- ⑨ワクチン接種の子どもへの影響
- ⑩今後の感染拡大



保護者が最も不安に思っていることは、⑨「ワクチン接種の子どもへの影響」であり、次いで①「感染症による子どもの重症化」、⑩「今後の感染拡大」、⑥「行事の中止」となっている。⑧「保育者とのコミュニケーション不足」を不安に思っている保護者は51.7%であり、過半数の保護者が保育者とのコミュニケーションを望んでいることがわかる。

4 登園自粛の願いに対する感じ方



自由記述

- 登園自粛で協力した場合は、保育料の減免及び給食費の返金をしてほしい。
- 体調不良の際、PCR 検査を求められたが、検査をしてくれる病院を探すのが大変だった。
- 育児休業中や産休中は、自粛するのが当然といった空気がつらかった。(出産前は腰が痛くて動きにくく、出産後は帝王切開で動けない。新生児の世話は大変。)